

講義コード	11C0102400	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	日本語4					洪沢 妃生子		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>大学生として知っておくべき「I日本語による社会事情」と、日本での学習や生活を円滑に進めていくために必要な「IIアカデミック・スキル」を養成することを目的としている。なかでも情報を収集する技能、収集した情報を整理し活用する技能、そして、それを人に伝える技能を高めることを目指す。これらの学習を通じて、周囲とのコミュニケーションに積極的に取り組めるようにすることも、この科目のねらいの一つである。</p>								
到達目標	<p>最新の社会事情を通じて、日本社会の理解を深めることができる。また、言語運用力を高めて必要な情報を収集、整理して活用できる。日本語による発表・発話力を高めることができる。周囲と積極的に交流をとろうとすることができる。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>この科目では、15時間以上の授業外学修を行うこと。各回の授業で扱う項目について、予習・復習を行うこと。授業で指示した課題を期限内で行い、提出・発表すること。</p>								
授業計画	<p>【第1回】 ・ガイダンス（授業の目的と概要、履修に関する説明） ・前期復習とフィードバック I 時事情報の収集と理解</p> <p>【第2～6回】 I 時事情報の収集と理解 II 生活スキル：情報収集と交渉、円滑な活動のための方略 ①会話から情報を読み取る ②活動遂行のための日本語運用（使用語彙の適切さ）③さまざまな立場での日本語使用</p> <p>【第7～9回】 I 時事情報の収集と理解 II 学習スキル：討論の留意点と必要表現の習得 ①討論のための重要表現の収集 ②討論の表現（使用語彙、展開、説得力）③資料の解釈・説明 ④討論（意識化）⑤自己モニター・自己評価から改善へ</p> <p>【第10～14回】 I 時事情報の収集と理解 II 視聴教材による現代日本の状況理解と発表 ①内容理解（表現・使用語彙・内容把握等）②意見交換 ③課題決定と資料収集 ④発表資料の作成 ⑤発表準備</p> <p>【第15回】 ・後期まとめテスト ・振り返り講評と質疑応答</p>								
成績評価の方法	<p>まとめテスト30%、発表30%、課題20%、授業への取り組み20%により評価する。</p>								
フィードバックの内容	<p>課題に対する講評を翌週授業内冒頭にて行う。また、提出された課題を添削し、授業期間内に返却する。</p>								
教科書	<p>適宜プリントを配布する。</p>								
指定図書									
参考書	<p>適宜紹介する。</p>								
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	<p>本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。</p>								
その他									